強化アクチュエータキット
取付説明書

取付けは必ず専門業者に依頼してください。
取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。
本書はご使用前に必ずお読みください。
本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商　品　名	車種別強化アクチュエータキット
用　　途	自動車専用部品
コ　ー　ド No.	1430-RN001
製品説明書品番	E04241-N48010-00　Ver.3-3.04
整備要領書品番	①BNR32:A006021　②BCNR33:A006026　③BNR34:A006030
メーカー車種	ニッサン　スカイラインＧＴ－Ｒ ①ＢＮＲ３２　②ＢＣＮＲ３３　③ＢＮＲ３４
エンジン型式	ＲＢ２６ＤＥＴＴ
年　　式	①1989年8月～1994年12月／②1995年1月～1998年12月／③1999年01月～
備　　考	・プラグの交換が必要になる場合があります。 ・過給圧118kPa（1.2kgf/cm²）以上で使用する場合には燃料カット除去装置（ＦＣＤ等）が必要になります。 ・本製品取付後は必ずハイオクガソリンを使用してください。

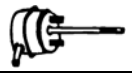
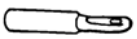
※適合車両の年式は、2000年10月現在のものです。
2000年10月以降に登録された車両への適合については、ＨＫＳ各営業所・お客様相談室にお問い合わせください。

改訂の記録

改訂No.	日　付	記　載　変　更　内　容
3-3.01	1999/08	初版
3-3.02	1999/11	適合車種追加
3-3.03	2000/10	パーツリスト追加・変更、記載事項追加・変更
3-3.04	2016/04	記載事項変更

2016年04月01日発行（禁無断複写、転載）㈱エッチ・ケー・エス

パーツリスト

連番	品　　名	数量	形　状	備　　考
1	ASSY, ACTUATOR　SMALL	2		
2	Bracket Acutuator	2		
3	ターンバックル	2		
4	セルフロックナット　Ｍ６　Ｐ＝１．０	4		
5	ナット　Ｍ６　Ｐ＝１．０	2		
6	スリーウェイ　６φ－６φ－６φ　樹脂	1		
7	タイラップ（小）	4		
8	耐油ホース　６φ　Ｌ＝500	1		
9	ゴムキャップ　６φ	1		
10	銅ワッシャ　１２φ	2		
11	Ｅリング	2		
12	ハイオクシール	1		
13	取扱説明書	1		
14	取付説明書	1		

１．ノーマルパーツ取外し

整備要領書に準じて作業を行なってください。

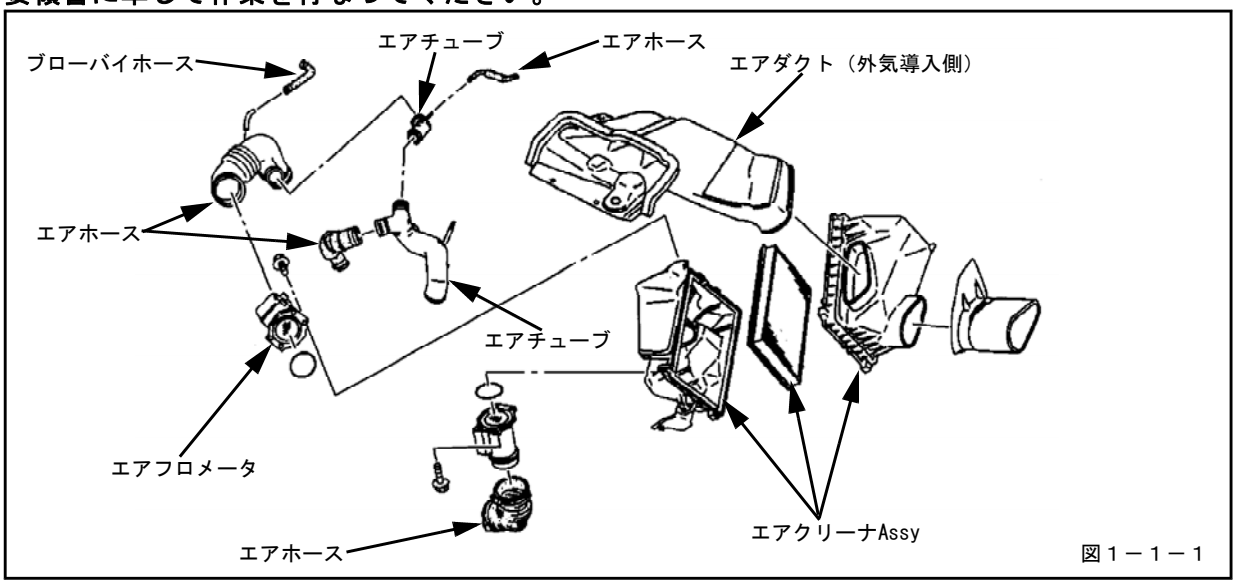


図１－１－１

（１）エアダクト（外気導入側)、エアクリーナAssy及びエアフロメータを取外してください。（図１－１－１）

（２）エアホース、エアチューブ及びブローバイホースを取外してください。（図１－１－１）

（３）フロントターボチャージャアウトレットチューブ、リヤターボチャージャアウトレットチューブ及びエアホースを取外してください。（図１－１－２）

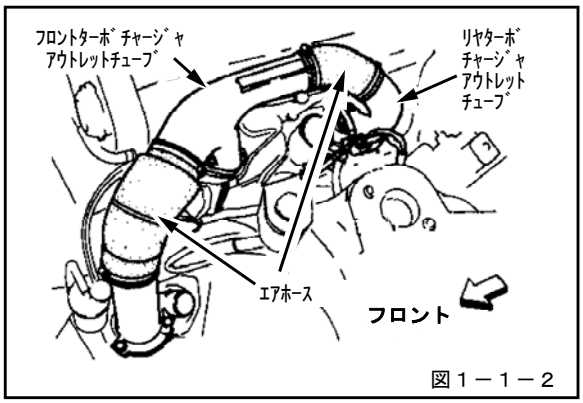


図１－１－２

（４）リヤターボチャージャのオイルフィードチューブアイボルト(再)、銅ワッシャを取外してください。（図１－１－３）

（５）ノーズプライヤとマイナスドライバを使用して、アクチュエータロッド先端のＥリングを取外してください。（図１－１－３）

（６）コンプレッサハウジングにアクチュエータ本体を固定しているボルト（再）を外して、フロント及びリヤのターボチャージャからアクチュエータを取外してください。（図１－１－３）

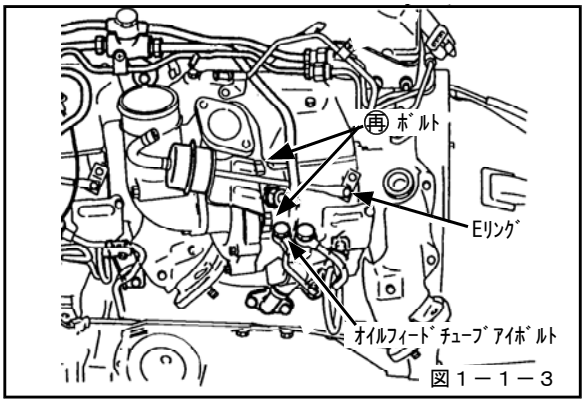


図１－１－３

２．キットパーツ取付け

（１）Ｐ１にＰ２、Ｐ３、Ｐ４、Ｐ５を取付けてください。（図２－１－１）

（２）Ｐ１をフロント及びリヤのターボチャージャに取付けてください。（図２－１－１）

（３）Ｐ３、Ｐ５を回してアクチュエータのセット荷重を調整し、過給圧を設定してください。（図２－１－２）

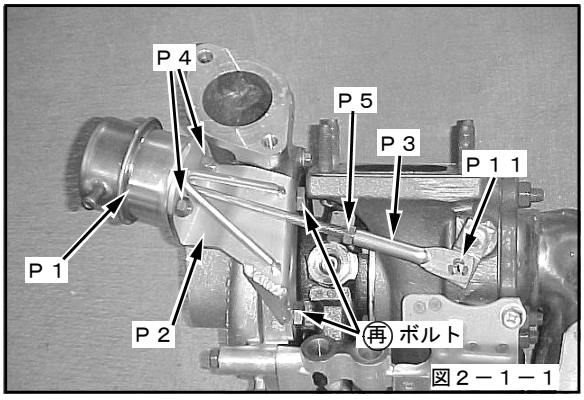


図２－１－１

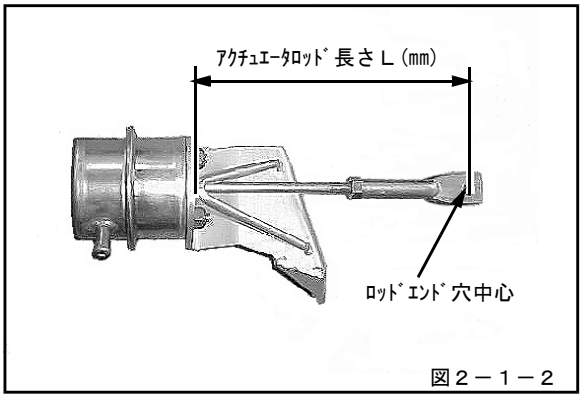


図２－１－２

⚠ 注意

●過給圧の設定はエンジンの仕様に合わせて設定してください。設定をおこたると、エンジン破損の原因となります。

アドバイス

・過給圧は、アクチュエータロッドを締込む（短くする）と上がり、ゆるめる（長くする）と下がります。

過給圧設定時の目安（スイングバルブ開き始め圧力とアクチュエータロッド長の関係）

スイングバルブ開き始め圧力 kPa（kgf/cm²）		78.5 (0.8)	98.1 (1.0)	118 (1.2)
アクチュエータロッド長さＬ mm （図２－１－２）	ノーマルタービン	148	145	143
	ＨＫＳ ＧＴタービン	151	149	147

※車両個体差および、ターボチャージャの種類により多少長さが異なりますので、調整後必ず設定過給圧になっていることを確認してください。
※ｱｸﾁｭｴｰﾀ取付の際は、ｱｸﾁｭｴｰﾀﾛｯﾄﾞを引っ張った状態でﾀｰﾎﾞﾁｬｰｼﾞｬに取付けてください。

・バンザイ製“TURBO CHARGER PRESSURE GAUGE(MODEL No.TCP-2TB)”または、それに準ずる計測器を使用して調整してください。
・過給圧１１８kPa（１．２kgf/cm²）以上での使用時は、エンジンパーツ（ヘッドガスケット、ピストン等）の交換を行ってください。

（４）設定終了後、Ｐ５でＰ３を固定してください。

（５）Ｐ１１を取付けてください。（図２－１－１）

（６）Ｐ９とＰ７を使用してバキュームチューブに取付けてください。（図２－１－３）

（７）Ｐ８を①２８０㎜、②１４０㎜、③８０㎜に切断してください。

（８）バキューム配管をしてください。（図２－１－３）

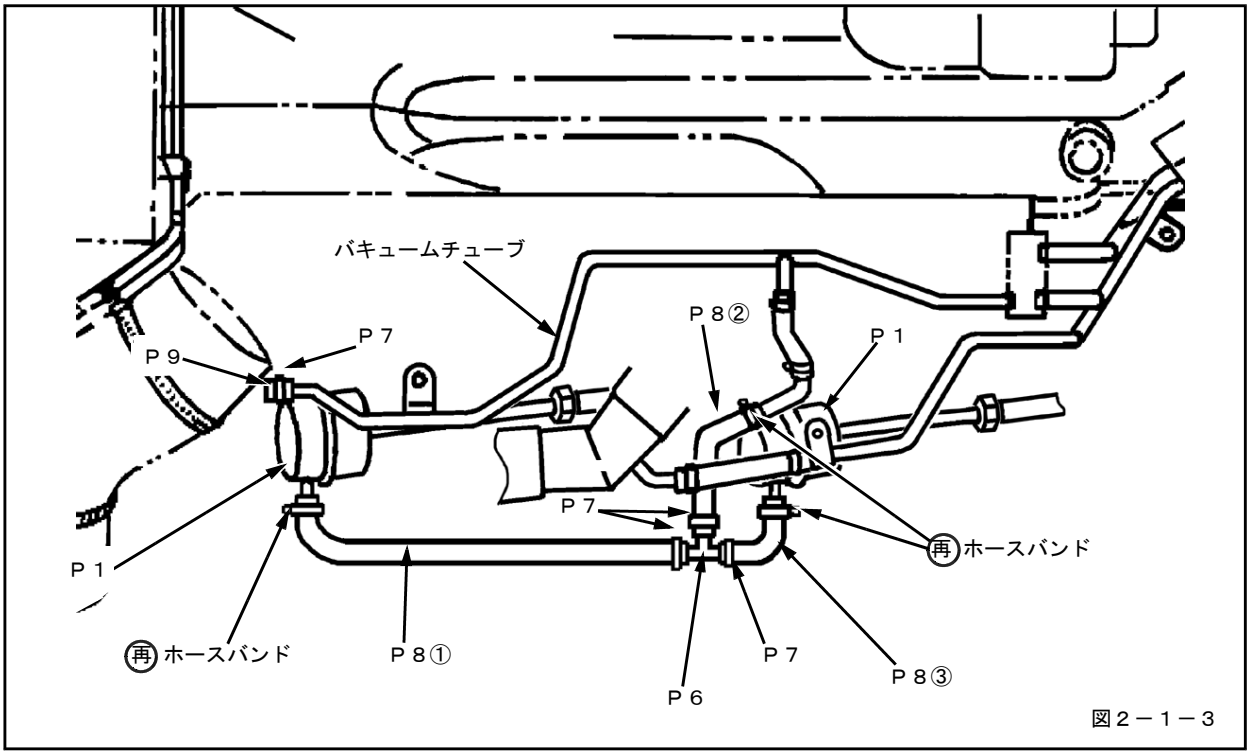


図２－１－３

（９）純正過給圧コントロールバルブは使用しないため、カプラーを取外してください。

（１０）Ｐ１２をフィラーキャップまたはその周辺に貼り付けてください。

３．ノーマルパーツ取付け

（１）Ｐ１０を使用して、オイルフィードチューブアイボルト（再）にオイルフィードチューブを取付けてください。

（２）１．（３）より逆の手順でノーマルパーツを取付けてください。

※取付作業終了後、必ず取扱説明書の「取付後の確認」に従って確認作業を行なってください。

●補足

・必ずプラグの焼け具合を確認し、必要であればプラグの交換を行ってください。
・エンジン破損の恐れがあるので、過給圧１１８kPa(１．２kgf/cm²)以上で使用する場合には、F-conV，ＡＦＲ等の燃料増減装置を使用してください。